

# Cyber Initiative Tokyo 2026

協賛のご案内

**NIKKEI**

**NIKKEI BP**

ver.4.2 2026/03/12



# Cyber Initiative Tokyoの開催目的

東京（日本）から世界へ——。日本のサイバー領域で何が起こり、どのような議論がなされているのか。Cyber Initiative Tokyo (CIT) 2026は、東京から日本全体、さらに世界に向けてサイバーの最新情報を発信します。

国際社会に目を転じると、各地で台頭するナショナリズムで分断が見られる一方、AI（人工知能）が急速に広がる現状を踏まえ、データの安全性を確保し持続的な社会を目指す動きもあります。民間企業は、こうした国際情勢の理解と即応、いわゆるインテリジェンスが求められています。

技術領域では、日本政府が利活用を推進する生成AIは、対象データが人間の非認知領域にも広がり、技術進化も一段と加速しています。生成AIは、セキュリティ確保のために有効である一方、攻撃者にとっても利益を生み出すツールにもなり、ガバナンスへの不安もあります。開発が進む量子コンピューティングへの対応も急務です。組織や顧客を守るには、こうした新しい技術を正しく理解する必要があります。

サプライチェーン攻撃やアカウント乗っ取りなどによるサイバー被害は後を絶ちません。サイバー空間のトラブルは、企業活動や個人資産など実社会に大きな影響を及ぼします。企業も個人も、事業や日常生活の継続に向けた備えが必要です。

何卒本企画書をご高覧の上、ご賢察賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2026年

日本経済新聞社／日経BP



AI時代を構成するデジタルデータ、パーソナルデバイスからデータセンターまでのAIシステム、光とともに発展するネットワーク、そして、それを支える電力グリッド。こうした新しい構成のサイバー空間が企業と生活のライフラインになりました。CITは、このようなサイバー社会のリーディング・ステークホルダーが集結し日本の役割と責任を議論します。

サイバーイニシアチブ東京 ステアリングコミッティ座長 村井純

# Cyber Initiative Tokyo 2026 開催概要

- 主催 日本経済新聞社、日経BP
- 共催 国家サイバー統括室（NCO）※予定
- 協力 ミュンヘン・サイバーセキュリティ会議（MCSC）※予定
- 開催日 2026年12月2日(水)・3日(木) ※予定
- 開催形態 全セッションオンライン配信(一部聴講者招待)
- 配信会場 日経ホール※予定
- 聴講料 無料
- 想定視聴 3,000名



# 産官学が一体となった 日本最大級のサイバーセキュリティイベント

我々は産官学が一体となって様々な脅威に対する対応策を討議していくことが今後ますます重要になると考えています。  
Cyber Initiative Tokyoでは各界の有識者が内外から集い、様々な専門的見地から対応すべき問題について議論を深めます。

## 産業界

サイバーセキュリティベンダー、  
プラットフォーム  
SleR  
製造業・小売業等

## 政府・公共団体

中央省庁  
内閣府  
国家サイバー統括室

## アカデミア

大学関連  
海外のサイバーセキュリティ団体  
外国政府

25年議論されたテーマ：AI、人材育成、国際連携と新たな脅威

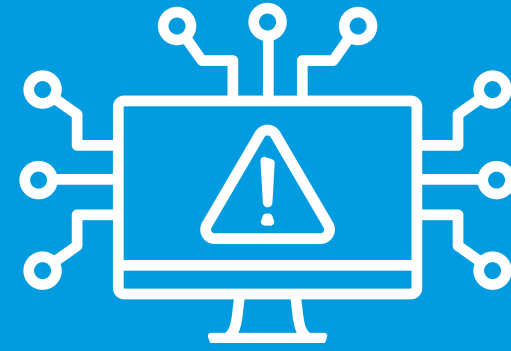


# 前年実績

視聴登録者数

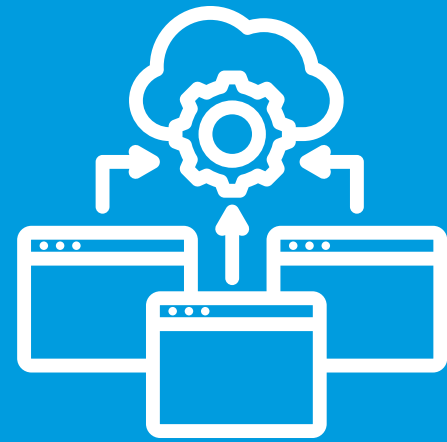
**3,391**

日本語 1,502名  
英語 1,889名



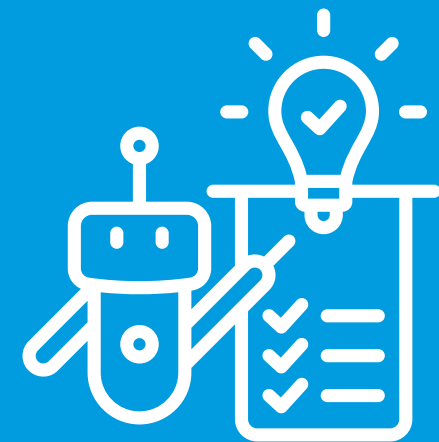
提供リード

**1,432**



前年との重なり

**19.9%**



# 開催概要

開催日時：2025年12月2日（火）、3日（水）

主催：日本経済新聞社、日経BP

共催：国家サイバー統括室（NCO）

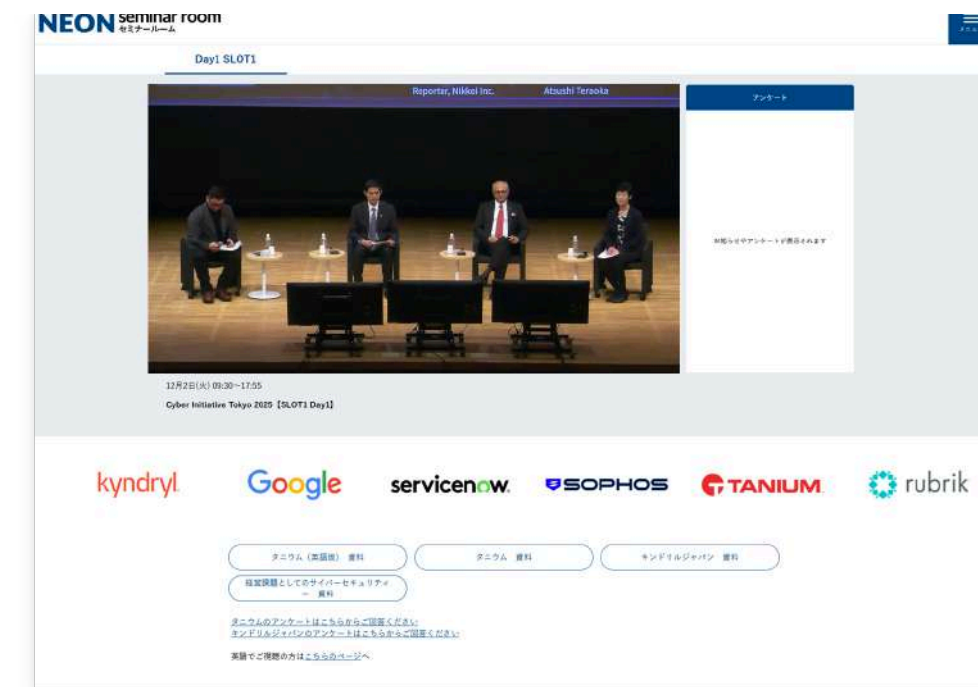
提携：ミュンヘン・サイバーセキュリティ会議（MCSC）

ホームページ：<https://www.global-nikkei.com/cit/25/>

## ゴールド協賛

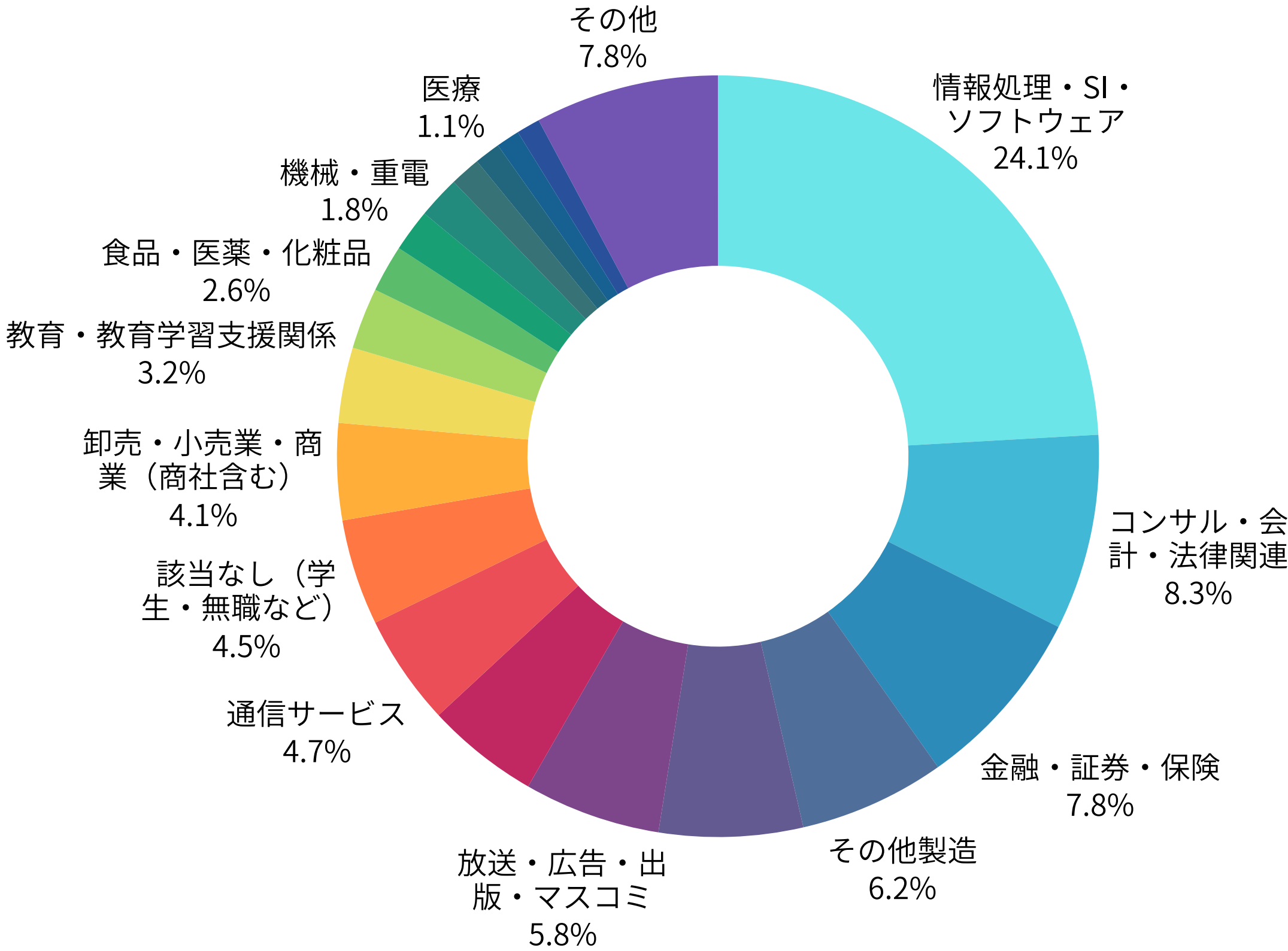


## シルバー協賛



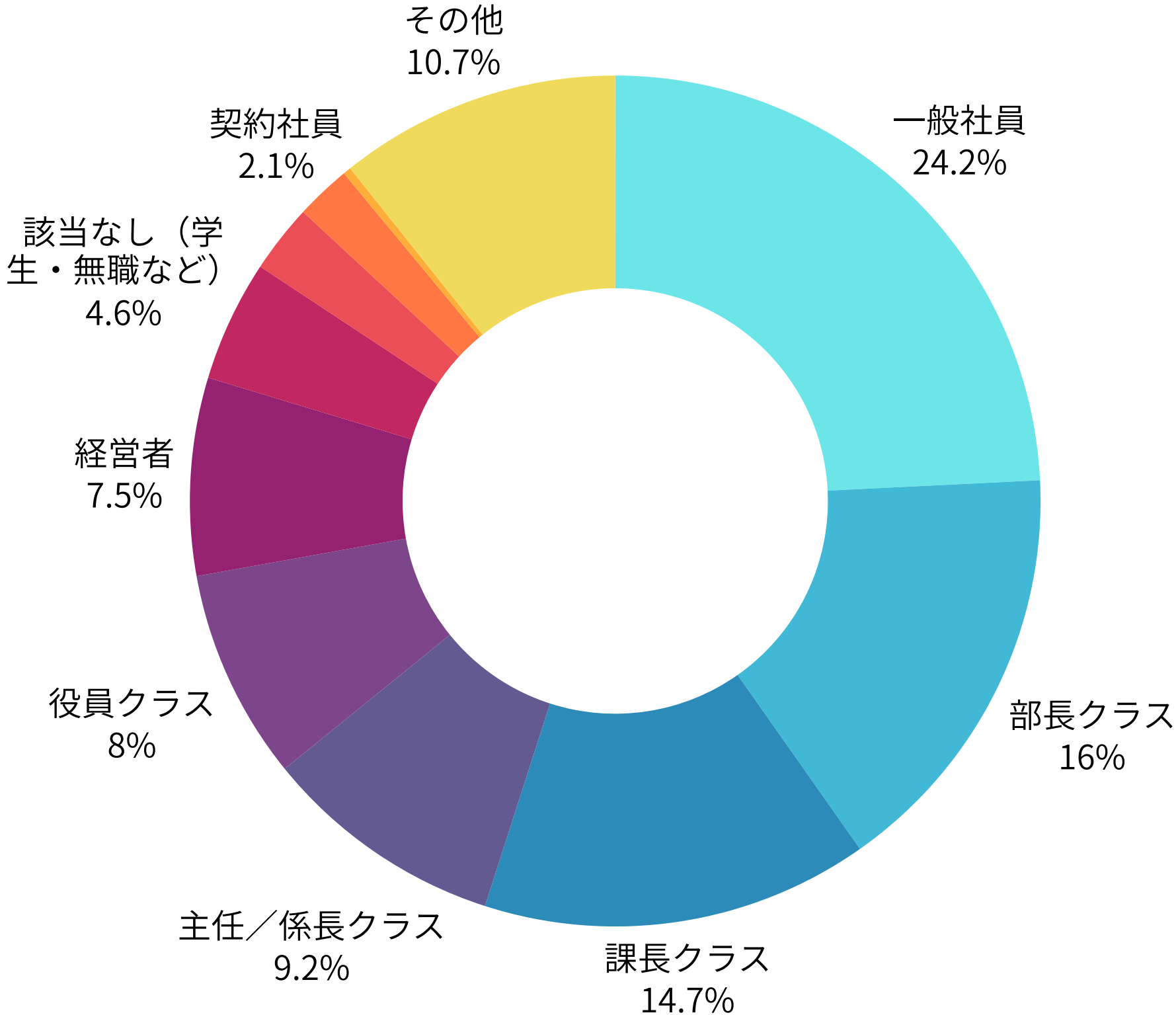
# 前年開催の視聴者の属性：業界

IT関連の視聴者は3割近くを占めながらも、多種多様な職種の視聴者を集客しました。



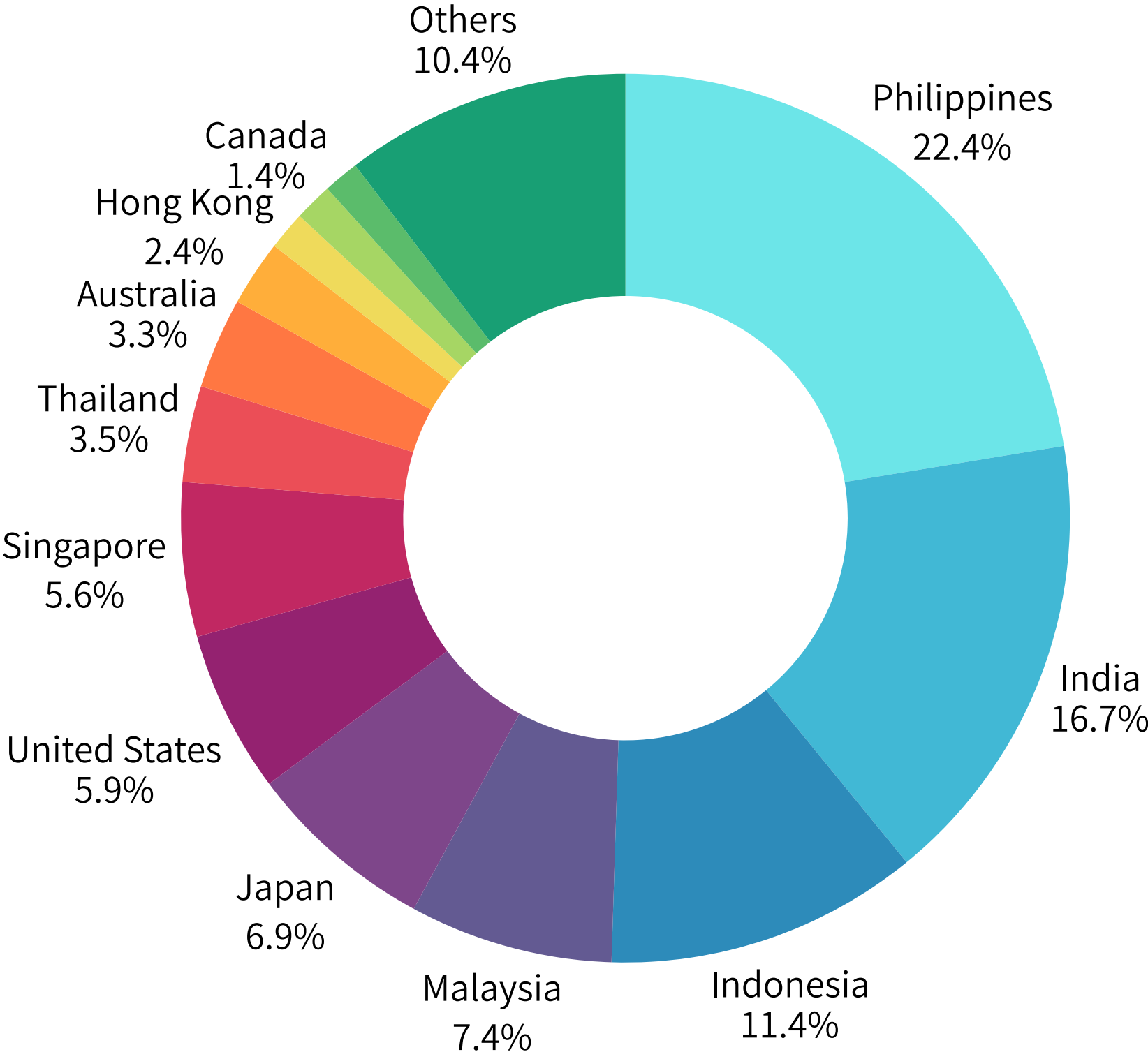
# 前年開催の視聴者の属性：役職

5割弱の視聴者は課長クラス以上の役職者。



# 前年開催の視聴者の属性：英語視聴者

最終登録者の55%が海外からの視聴者。  
APAC地域に加えて、欧米からの登録も多数ありました。



# Cyber Initiative Tokyo の3つの特色



## 「ステアリングコミッティー」でのプログラム策定

サイバーセキュリティ分野の産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」にてプログラム内容や企画を行います。

※ステアリングコミッティーにはゴールド以上の協賛企業様も参加頂けます。



## 海外からの登壇者招聘や海外向けに配信も行うグローバルイベント

日経グループのネットワークを活かして海外の政府機関や企業トップも登壇者として招聘します。また、海外向けに英語による配信も行っており、海外からの視聴者数がおよそ半数を占めております。



## 日経グループ媒体でのプロモーションとメディア露出

日経グループの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRに繋がります。

# ステアリングコミッティーでのプログラム策定



サイバーセキュリティ分野の産学官のトップが参画する「ステアリングコミッティー」にてプログラム内容や企画を行います。

※ステアリングコミッティーにはゴールド以上の協賛企業様も参加頂けます。



# Cyber Initiative Tokyo 2026 ステアリングコミッティー

開催前より産官学の代表者によるステアリングコミッティーを開催。プログラムの策定や議論の方向性などを事前に協議することを通じ、当日の議論が目指すビジョンを共有いたします。

ゴールドスポンサー以上のご協賛でご要望あればステアリングコミッティーに参加いただき、有識者間でのネットワークを構築いただけます。



座長 村井 純  
慶應義塾大学 特別特区特任教授



奥家 敏和  
経済産業省  
大臣官房審議官  
(商務情報政策局担当)



三角 育生  
東海大学 情報通信学部客員教授



梶浦 敏範  
日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会  
代表理事



# ステアリングコミッティー 前年開催のメンバー

村井純	慶應義塾大学	特別特区特任教授
赤阪晋介	総務省	大臣官房サイバーセキュリティ・情報化審議官
三宅史人	外務省	サイバー政策担当大使、サイバーセキュリティ・情報化参事官
奥家敏和	経済産業省	大臣官房審議官（商務情報政策局担当）
中野憲幸	防衛省	サイバーセキュリティ・情報化審議官
小野寺健一	警察庁	長官官房審議官（サイバー警察局担当）
坂明	（公財）公共政策調査会	専務理事
奥田直彦	デジタル庁	サイバーセキュリティ・情報化審議官
中溝和孝	内閣官房 国家サイバー統括室（NCO）	内閣審議官
三角育生	東海大学	情報通信学部 客員教授
梶浦敏範	JCIC（日本サイバーセキュリティ・イノベーション委員会）	代表理事
中谷昇	日本サイバー犯罪対策センター（JC3）	代表理事

## 第1回の会合

2025年8月5日

大手町カンファレンス

## 第2回の会合

2025年10月7日

日経セミナールーム

## 第3回の会合

2026年2月4日

大手町三井カンファレンス

# 海外からの登壇者招聘や海外向けに配信も行うグローバルイベント



日経グループのネットワークを活かして海外の政府機関や企業トップも登壇者として招聘します。また、海外向けに英語による配信も行っており、海外からの視聴者数がおよそ半数を占めております。



# 前年開催の登壇者一覧

## 大臣からのメッセージ



小泉 進次郎  
防衛大臣



林 芳正  
総務大臣



赤澤 亮正  
経済産業大臣



堀井 巖  
外務副大臣

## 海外からの有識者による登壇



クリストファー・ペインター  
元米国国務省サイバー外交官  
The Cyber Policy Group



ティム・メンリー  
グーグル・クラウド・ジャパンセキュリティ&レジリエンス グ  
ローバルプラクティスリーダー



キンドリル  
グローバルプラクティスリーダー

# 前年開催の登壇者一覧

## 官民ハイレベルダイアログ インド太平洋におけるサイバーレジリエンスの共創



松本 尚  
デジタル大臣  
サイバー安全保障担当大臣



飯田 陽一  
内閣サイバー官



サミ・コーリー  
カナダ政府  
サイバーセキュリティ担当  
シニアオフィシャル



デイビッド・コー  
シンガポール政府  
サイバーセキュリティ庁(CSA)  
長官



高見澤 将林  
笹川平和財団 上席フェロー

## パネルディスカッション 社会全体のサイバーレジリエンスを支える官民連携のあり方



ティーラウト・ウィッタヤコーン  
タイ政府 国家サイバーセキュリティ  
庁(NCSA)副長官



スタン・シン・ジット  
アジア・オセアニア  
コンピュータ産業機構 (ASOCIO)  
会長



松原 実穂子  
チーフ・サイバーセキュリティ・ス  
トラテジスト



寺岡 篤志  
日本経済新聞社  
記者

# 前年開催の登壇者一覧

## MCSC協力セッション サプライチェーンのリスク管理と中小企業のカン力開発



アレクサンダー・シェロン  
Schwarz Digits  
常務取締役



リヌス・ノイマン  
Head of Security Strategy  
Security Research Labs (SRLabs)



ルカ・タリアレッティ  
欧州サイバーセキュリティー能力  
センター (ECCC)  
エグゼクティブディレクター



スミット・チャンダ  
Charter of Trust 共同議長  
Atos最高執行責任者 (COO)



ヘルマン・グンプ  
株式会社Enobyte 代表取締役社長  
(CEO)

## パネルディスカッション AI前提時代のセキュリティーマネジメント



福島 雅哉  
日本航空株式会社  
システムマネジメント部 部長



岡田 淳  
森・濱田松本法律事務所  
パートナー弁護士



伊藤 穰一  
千葉工業大学 学長



村井 純  
慶應義塾大学 特別特区特任教授

# 前年開催の登壇者一覧

## パネルディスカッション 経営課題としてのサイバーセキュリティ



森 正弥  
博報堂DYホールディングス  
執行役員 Chief AI Officer



矢吹 哲朗  
東洋紡株式会社  
執行役員 CDO  
TX・業務革新総括部長



吉田 俊介  
イオン株式会社 CISO



梶浦 敏範  
日本サイバーセキュリティ・イ  
ノベーション委員会  
代表理事

## パネルディスカッション サイバー発リアル of 脅威



クロサカ タツヤ  
慶應義塾大学大学院 政策・メディア  
研究科 特任准教授  
ジョージタウン大学 客員研究員



結城 則尚  
独立行政法人情報処理推進機構  
セキュリティセンター  
上席情報分析官



寺岡 篤志  
日本経済新聞社  
記者



西山 圭太  
東京大学未来ビジョン研究センター  
客員教授

# 前年開催の登壇者一覧

## パネルディスカッション 次代の担い手と探るサイバーの未来



中島 明日香  
Elastic シニアセキュリティリサー  
チエンジニア



古川 文路  
東芝総合研究所  
AIデジタル R&Dセンター セキュリ  
ティ技術部 シニアマネジャー



中島 春香  
NEC サイバーセキュリティ技術統括部  
リスクハンティンググループ アナリス  
ト



篠田 佳奈  
BLUE 代表取締役

## パネルディスカッション セキュリティー人材不足の打開策を探る



市原 尚久  
株式会社メルカリ  
執行役員 グループCISO



稲葉 緑  
情報セキュリティ大学院大学  
情報セキュリティ研究科 教授



伊東 寛  
国立研究開発法人情報通信研究機構  
主席研究員



濱石 佳孝  
警察庁サイバー警察局  
サイバー捜査課 サイバー捜査分析官  
兼 関東管区警察局サイバー特別捜査エグゼクティブ・コンサルタント  
部付



三谷 慶一郎  
株式会社NTTデータ経営研究所  
主席研究員

# 日経グループ媒体でのプロモーション/メディア掲出



日経グループの関連媒体を中心にプロモーションを実施いたします。  
また、会期後にはレビュー記事の掲載も行うことで、購読者へのPRに繋がります。

This block is a collage of promotional materials for 'CYBER INITIATIVE TOKYO | 2025'. On the left is a large poster with the event title, dates '12月2日(四)・3日(水) 9:30~', and a list of topics: '国際情勢とサイバーセキュリティ', '脅威が増すサイバー攻撃の現状と備え', 'セキュリティ人材不足の打開策を探る', and '国家サイバー総括室 (NCO) による「官民ハイレベルダイアログ」'. Below the poster is a row of speaker portraits with names like 坂田 翔一, サミ・コリー, and others. In the center are newspaper clippings, one with the headline 'ネット通信、小中高生に注目の脅威' (Internet communication, a major threat for elementary and high school students). On the right is another poster with the text 'ARE WE TRULY PREPARED FOR THE ESCALATING THREATS IN AN AI-FIRST ERA - WHERE DATA UTILIZATION AND SECURITY ARE UNDER CONSTANT SCRUTINY?' and 'DECEMBER 2-3'. At the bottom right is a website snippet with the URL 'https://www.global-nikkei.com/cit/25/'.

# 日経グループ媒体でのプロモーション/メディア掲出

## 告知

日本経済新聞



The Financial Times



日経ビジネス・日経コンピュータ



# 日経グループ媒体でのプロモーション/メディア掲出

## 採録

日本経済新聞

日経ビジネス

Nikkei Asia

サイバーイニシアチブ東京2024特集 生成AI、リスク知り活用

生成AIの台頭、企業活動の効率化を促進する一方で、サイバーセキュリティ上のリスクも増大している。専門家らは、リスクを知り、適切に対処することが重要だと指摘している。

サイバー防御刷新が重要

専門人材、世界で不足

ジェレミー・フレミング

リスクとリターンバランス

生成AIの台頭から

一国だけの対応限界

NIKKEI FORUM

CYBER INITIATIVE TOKYO | 2024

サイバーイニシアチブ東京

分断や新技術の台頭で高まる脅威、事業を止めないために守るべきこと

アーカイブ動画配信中

アーカイブ動画を視聴する

Google Sky servicenow Securesworks Microsoft splunk> TRENDI BlackBerry

セキュリティを万全に サイバーイニシアチブ東京2024特集

ランサム対策へ連携

欧米以上の対応能力

自衛隊も人材育成急ぐ

中小企業への支援強化

ITリスク対策が、企業を進化させる。

Sky

1000万台突破

SKYSEA Client View

Sky株式会社

サイバーイニシアチブ東京2024 [レポート]

生成AIなど新技術の台頭で高まるリスク 事業継続に向け経営者が取るべき対応とは？

生成AIの台頭により、サイバーセキュリティ上のリスクも高まっている。経営者は、事業継続に向け、適切な対応を講じる必要がある。

生成AIの台頭により、サイバーセキュリティ上のリスクも高まっている。経営者は、事業継続に向け、適切な対応を講じる必要がある。

生成AIの台頭により、サイバーセキュリティ上のリスクも高まっている。経営者は、事業継続に向け、適切な対応を講じる必要がある。

CYBER INITIATIVE TOKYO 2024

生成AIなど新技術の台頭で高まるリスク 事業継続に向け経営者が取るべき対応とは？

生成AIの台頭により、サイバーセキュリティ上のリスクも高まっている。経営者は、事業継続に向け、適切な対応を講じる必要がある。

生成AIの台頭により、サイバーセキュリティ上のリスクも高まっている。経営者は、事業継続に向け、適切な対応を講じる必要がある。

生成AIの台頭により、サイバーセキュリティ上のリスクも高まっている。経営者は、事業継続に向け、適切な対応を講じる必要がある。

NIKKEI Asia

CYBER INITIATIVE TOKYO 2024 PARTNER CONTENT

CYBER INITIATIVE TOKYO | 2024

Keeping your business running in the face of growing cyber risks

Toward a sustainable digital society

The impact of cyberattacks is becoming increasingly severe. As companies struggle to defend on their own against ever more sophisticated attacks, they need sustainable countermeasures that will keep their business running, while gathering information to obtain an overview of the domestic and global situation.

CYBER INITIATIVE TOKYO 2024 (Main sponsors: Nikkei Inc. and Nikkei Business Publications, Inc.), held November 26-27, 2024, brought together key people involved in realizing a digital society, offering solutions toward these ends.

Among the wide range of themes taken up were the potential for cyber risks arising from rapid advances in the latest technologies including generative AI, as well as ransomware response, and the role of the CISO (Chief Information Security Officer). The discussions extended to practical matters, not limited to defending against damages but premised on continuing business even when impacted by an attack.

Main sponsors	Nikkei Inc. and Nikkei Business Publications, Inc.
Complimentary sponsors	Google, Sky, servicenow, Securesworks, Microsoft, splunk>, TRENDI, BlackBerry

Rising risks with the emergence of generative AI and other new technologies

What actions should management take for the sake of business continuity?

Cybersecurity measures in 2024 can be summed up as "Keeping Your Business Running." What is demanded today is a shift from the conventional approach, of concentrating measures for defending against attacks, toward not shutting down services. So argued Jun Murai of Keio University, who chairs the steering committee for this forum, in his opening remarks.

The rapid advance of digitalization has made all kinds of business fields directly vulnerable to cyber threats. Professor Murai, pointing to the need to build sustainable operations such as by bolstering and distributing services, suggested that one option might be to have some key infrastructure operated by private enterprises or multiple

Google

Sky

ServiceNow Japan

Securesworks

Microsoft Japan

# 協賛のご案内

---



# 協賛メニュー



## ダイヤモンドスポンサー

20,000,000円

- ・本会議セッションでの単独講演（45分）
- ・本会議パネルディスカッションへの1名参加（要編集交渉）
- ・ステアリングコミッティーへの参加
- ・関係者パーティーへの参加
- ・新聞広告5段4色
- ・リード提供（日本人のみ）
- ・オプションA x 2もしくはオプションA x 1とオプションB x 2



## プラチナスポンサー

12,000,000円

- ・本会議セッションでの単独講演（45分）
- ・ステアリングコミッティーへの参加
- ・関係者パーティーへの参加
- ・新聞広告5段モノクロ
- ・リード提供（日本人のみ）
- ・オプションA x 1もしくはオプションB x 2



## ゴールドスポンサー

6,000,000円

- ・分科会セッション（メイントラック）での講演/パネル（30分）
- ・ステアリングコミッティーへの参加
- ・関係者パーティーへの参加
- ・リード提供（日本人のみ）



## シルバースポンサー

4,500,000円

- ・分科会セッション（サブトラック）での講演/パネル（30分）
- ・ステアリングコミッティーへの参加（オンライン聴講のみ）
- ・関係者パーティーへの参加
- ・リード提供（日本人のみ）

# Branding 強化オプション



## ランチ協賛

3,000,000円

- ・冠スポンサーとして企業名を掲出
- ・開催時のショートスピーチおよび乾杯のご発声
- ・会場内での動画放映
- ・別室での要人との着席セッション（20分ほど）
- ・（オプションで）フォトスタンド設置権

オプションA



## レセプション協賛

3,000,000円

- ・冠スポンサーとして企業名を掲出
- ・開催時のショートスピーチおよび乾杯のご発声
- ・会場内での動画放映
- ・別室での要人との着席セッション（20分ほど）
- ・（オプションで）フォトスタンド設置権

オプションA

SAMPLE

## サンプリング協賛

1,500,000円

- ・ランチおよびネットワーキング会場でのブース出展
- ・来場者に対してサンプル・資料のご提供

オプションB



## フォトスタンド協賛

1,500,000円

- ・サイバーイニチアチブ東京特製バックドロップに貴社ロゴをあしらったフォトスタンドを作成、ランチまたはレセプション会場にて展示します。
- ※ランチ・またはレセプションへの協賛が条件となります。

オプションB

- ・それぞれ1社限定の特別プランです。
- ・複数ご購入いただくことで、より深いブランディング機会をご提供可能です。

# Branding 強化オプション ランチ・レセプション協賛の詳細

ランチやレセプションは期間中に別室にて実施される予定



# MCSC連携施策オプション



例年2月にミュンヘンで開催されるサイバーセキュリティの国際会議であるミュンヘンサイバーセキュリティ会議（MCSC）と連携した施策をご提供致します。



## MCSC内セッション登壇

**3,000,000円**

- ・ MCSC内で開催されるサイバーイニチアチブ東京セッションへの登壇権のご提供
- ※セッション名は「サイバーイニチアチブ東京セッション」となります。
- ※他の登壇者は主催者との調整となります。

**オプションA**



## サイドイベントパーティー

## ご相談

MCSC開催期間中にミュンヘン市内にて、貴社主催のサイドイベント（ネットワーキングパーティーなど）の開催サポートを行います。

詳細は担当営業にご相談ください。

- ・ それぞれ1社限定の特別プランです。
- ・ 複数ご購入いただくことで、より深いブランディング機会をご提供可能です。

# Cyber Initiative Tokyo 2026 仮プログラム

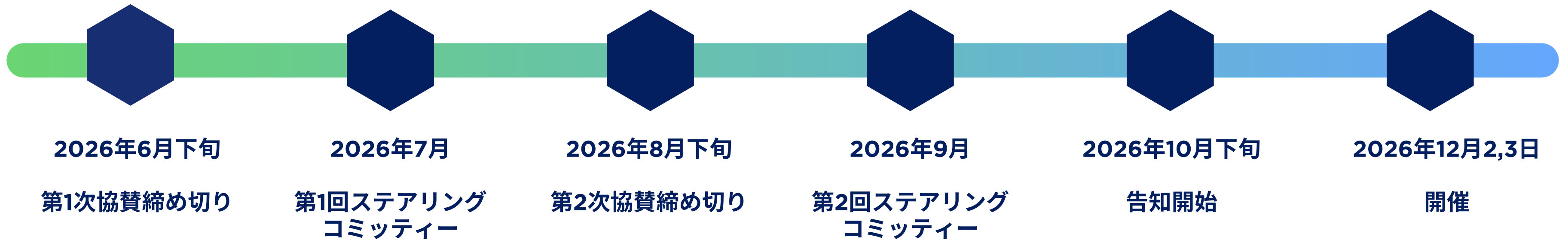
Day1		
時間	プログラム	
9:30	開場	
10:00 – 10:30	オープニングセッション	
10:30 – 11:15	主催者セッション①	
11:20 – 11:50	特別講演	
11:50 – 12:50	休憩	
12:50 – 13:35	プラチナスポンサーセッション①	
13:40 – 14:25	主催者セッション②	
14:25 – 14:35	休憩	
14:35 – 15:05	ゴールドスポンサーセッション①	シルバースポンサーセッション①
15:10 – 15:40	ゴールドスポンサーセッション②	シルバースポンサーセッション②
15:45 – 16:15	ゴールドスポンサーセッション③	シルバースポンサーセッション③
16:20 – 17:05	主催者セッション③	
17:10 – 17:55	ダイヤモンドスポンサーセッション①	

Day2		
時間	プログラム	
9:30	開場	
10:00 – 10:45	主催者セッション④	
10:50 – 11:35	主催者セッション⑤	
11:40 – 12:40	スポンサーセッション	
12:40 – 13:10	休憩	
13:10 – 13:40	特別講演	
13:45 – 14:30	ダイヤモンドスポンサーセッション②	
14:30 – 14:40	休憩	
14:40 – 15:10	ゴールドスポンサーセッション④	シルバースポンサーセッション④
15:15 – 15:45	ゴールドスポンサーセッション⑤	シルバースポンサーセッション⑤
15:50 – 16:35	プラチナスポンサーセッション②	
16:40 – 17:10	特別講演	
17:15 – 18:00	主催者セッション⑥	
18:05 – 18:15	クロージングリマーク	
18:15	終了	

# Cyber Initiative Tokyo 2026 協賛メニュー詳細

協賛メニュー		ダイヤモンド	プラチナ	ゴールド	シルバー
		20,000,000	12,000,000	6,000,000	4,500,000
告知	日本経済新聞告知での社名記載	●	●	—	—
	HPでの社名・ロゴ記載	●	●	●	●
	日経お知らせメールでの社名記載	●	●	●	●
ステアリング コミッティ	開催前2回・開催後1回の合計3回実施予定のステアリングコミッティへのご参加（※1）	●	●	●	—
	ステアリングコミッティへのオンラインでのオブザーバー参加（聴講のみ）	—	—	—	●
本会議	タイトルスライド等への社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	プログラムへの社名・ロゴ記載	●	●	●	●
	セッション間での動画素材放映（15秒素材）	●	●	●	—
	本会議での単独ご講演（45分）	●	●	—	—
	本会議パネルディスカッションへのご登壇（1名）（※2）	●	—	—	—
	分科会セッション（30分）でのご講演	—	—	●	●
	登壇者や関係者が参加する「レセプションパーティー」へのご参加	●	●	●	●
	国内受講申込者一般来場者のリード提供（許諾が取れているもののみ）	●	●	●	●
採録	日本経済新聞 採録特集での全5段4色広告の掲載（※3）	●	—	—	—
	日本経済新聞 採録特集での全5段モノクロ広告の掲載（※3）	—	●	—	—
	日本経済新聞 採録特集での社名・ロゴの掲出（モノクロ）	—	—	●	●
	日経ビジネス内特集での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	日経ビジネス内特集でのレビュー掲載	●	●	●	—
	日経ビジネス電子版での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	日経ビジネス電子版でのレビューの掲載	●	●	●	—
	Nikkei Asia 広告特集（デジタル版）での社名・ロゴ掲出	●	●	●	●
	Nikkei Asia 広告特集（デジタル版）での英文レビュー掲載	●	●	●	—

# Cyber Initiative Tokyo 2026 スケジュール・お問い合わせ



日本経済新聞社  
グローバル事業 総合営業グループ  
中川桃子・御厨直樹  
〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7  
Tel 03-6256-7311 Fax 03-6256-7854

Email  
[momoko.nakagawa@nex.nikkei.com](mailto:momoko.nakagawa@nex.nikkei.com)  
[naoki.mikuriya@nex.nikkei.com](mailto:naoki.mikuriya@nex.nikkei.com)

日経BP  
ソリューションビジネス企画部  
平野 未菜・中根由晴  
〒105-8308 東京都港区虎ノ門4-3-12  
Tel 03-6811-8031 Fax 050-3153-7274

Email  
[mihirano@nikkeibp.co.jp](mailto:mihirano@nikkeibp.co.jp)  
[ynakane@nikkeibp.co.jp](mailto:ynakane@nikkeibp.co.jp)